

ひ てん ふた わ のう 飛天双の能

飛天双の能は日本全国にある神社仏閣の能舞台にて12年かけてお能を奉納します。2024年2月8日に伊勢神宮で奉納されるにあたっての記念行事として五十鈴塾でワークショップを開催いたします。ぜひご参加ください。

2月5日(月) 13:00~14:30

伊勢工芸の現状

伊勢の工芸である、伊勢和紙(和紙)、伊勢麻(大麻)などに携わる皆様を迎えて、伝統工芸の現在を聴き、地域に在る伝統工芸の実態を紐解きます。伝統を未来へむかう担い手のお話は、現代を生きる我々になんらかの手がかりとなるのではないのでしょうか。

参加費 [会員] 2,500円 [ビジター] 3,000円 ※30歳以下は無料

聞き手 大倉 正之助

能楽師・重要無形文化財総合指定保持者・一般財団法人令和文化蔵代表理事

2月5日(月) 15:30~17:00

神宮と芸能

天照大神が長旅を終えて五十鈴の川上に鎮まれた喜びの日、終夜に及ぶ宴楽歌舞がなされた『倭姫命世記』は伝えています。川のせせらぎが奏でる清涼の響きと森敵の場での祝宴は、きっと人々の心を魅了したでしょう。神宮と芸能との関係は、神事儀礼の面と、人々が大神への奉賛・奉納として心を形にされる面があります。後者の、伊勢猿楽三座、謡曲「絵馬」、近隣神社の獅子舞・翁舞などを中心にお話したいと思えます。

参加費 [会員] 2,500円 [ビジター] 3,000円 ※30歳以下は無料

講師 櫻井 治男

皇学館大学名誉教授

2月6日(火) 15:30~17:00

天照大神と倭姫の巡幸の旅を辿る

天照大神と倭姫の14年に渡る長き巡幸は、多くの奇跡と謎に包まれています。しかし、このロングジャーニーは伊勢神宮の創建と大和王権の建国に深く関わっています。日本書紀、倭姫命世記などを紐解きながら、巡幸の秘められた意味を探ってみましょう。

参加費 [会員] 2,500円 [ビジター] 3,000円 ※30歳以下は無料

講師 池田 雅之

早稲田大学名誉教授・比較文化論・翻訳家・一般財団法人令和文化蔵代表理事

能楽奉納解説

2024年2月8日に伊勢神宮内宮参集殿にて能楽奉納される「翁」「高砂」「籠」「羽衣」「三輪」「石橋」の演目を能楽師ワキ方・安田登が3回にわけて解説いたします。

— 各日時 —

2月5日(月) 18:00~19:00 「翁」・「高砂」

2月6日(火) 18:00~19:00 「籠」・「羽衣」

2月7日(水) 18:00~19:00 「三輪」・「石橋」

参加費 (各回) [会員] 2,500円 [ビジター] 3,000円 ※30歳以下は無料

講師 安田 登 能楽師

受講のご案内

【お申込み】

★申込受付時間は9:00~17:00です。お一人様、何講座でも受講いただけます。

★原則として予約制ですが、当日でも定員に達していなければ受講できます。(事前にお問合せください)

【お申込み方法】

- ①五十鈴塾事務局の窓口 ②電話・FAX
- ③五十鈴塾ホームページ(インターネット)

【参加費】

★当日、受付にてお支払いください。

★現金または振込み(手数料は入金者負担)でお支払いください。

※「定員」の記載がない講座は定員20名です。

※各講座とも定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

※講座申込者が10名に満たない場合は中止させていただきます。

※講師の都合、その他により講座内容等、変更になる場合があります。

※お申込みの講座をキャンセルされる場合は、当塾のキャンセルポリシーに基づきキャンセル料が発生いたします。お申込みの際にご確認ください。

◆ 会員募集中 ◆

入会のご案内

ご入会いただくと、五十鈴塾の会員としてさまざまな特典を受けられます。

五十鈴塾会員

年会費 5,000円

賛助会員

個人会員年会費 1口 10,000円

法人会員年会費 10口~ 100,000円~

五十鈴塾

公益財団法人伊勢文化会議所 五十鈴塾事務局
〒516-0026 三重県伊勢市宇治浦田1丁目5番3号

TEL 0596-20-8251 FAX 0596-20-8253

五十鈴塾 検索

五十鈴塾のホームページで講座内容の詳細や満席情報などをご覧いただけます。



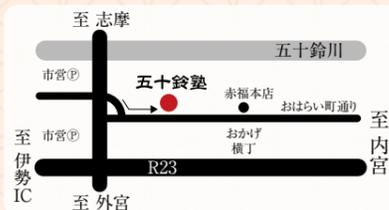
五十鈴塾HP



五十鈴塾 Instagram
@isuzujuku



五十鈴塾 Facebook
@isuzujuku



五十鈴塾まで...
市営駐車場からは、地下道を通って出口から約120mです。

駐車場はございません。
近隣の有料駐車場か公共交通機関をご利用ください。



暮らっしっく日本 五十鈴塾

講座のご案内

12月~2月

令和5年
(2023)

令和6年
(2024)

五十鈴塾は日本の暮らしにある心地よさを体験し

「かけがえのないもの」を見つける

お手伝いをしたいと願っています。



神崎宣武塾長 特別講座 神崎 宣武 民俗学者・神崎研究室室長

2月13日(火) 18:30~20:00 オンライン同時中継

日本のしきたりの何故を知る②

「箸の上げ下ろしとは」~ハレの食事における作法のしきたり~

お箸を使う民族は世界中で28%だそうです。中国、韓国、ベトナム、タイ、シンガポールなど東南アジアの人々です。日ごろお話になっているのにあまり注目されないお箸、最近では子供の頃からスプーンやフォークで食べさせるのでお箸の持ち方がおかしい大人が増えてきています。ましてやお箸の種類や使い方を知っている人はほとんどいなくなりました。例えばお正月には祝箸と言って柳のお箸をしますが、これは両端が細くなっています。その訳は一方は人間、もう一方は歳神様が使い、神人ともにめでたくいただくからです。今回は今更聞けないお箸についてのいろいろなお話です。ちなみにナイフやフォークを使う人達も28%くらい、残りの人たちは手で食べるそうです。ちょっとビックリですね。



参加費 [会員] 1,200円 [ビジター] 1,700円

2月14日(水) 13:30~15:00 オンライン同時中継

日本人の食文化 冬編

冬はお正月をはじめ昔ながらの伝統行事がたくさんあります。年内では冬至、南瓜やれんこんなど「ん」のつくものを食べると風邪にかからないといわれています。大晦日には年越しそば、一夜明ければお正月、お屠蘇、お雑煮、おせち、全国に様々な正月料理があります。7日は五節句のひとつ人日としますが(本来は1月1日)、七草粥で無病息災を祈ります。15日は小正月、小豆粥が定番です。2月になると節分、豆を年の数だけ食べて厄払い、こうしてみると行事ごとに食を定めて折り目切り目をつけながらも楽しんできた日本人の暮らしが伺えます。今回はどんなお話が出るのでしょうか。



参加費 [会員] 1,200円 [ビジター] 1,700円

12月10日（日） 午前中(時間は11月下旬頃にご案内します) **野外体験講座**

「お茶会」に行こう！

五十鈴塾でお茶会に行く体験講座です。今回は、伊勢茶道協会が主催する「お茶会」へ参加します!場所は山田奉行所記念館で、1時間ほど茶道の世界を体験します。抹茶は好きだけとお茶会に行くには勇気があるなどお思いの方にぜひチャレンジしていただきたいと思います。和室でお点前を見ながら、抹茶とお菓子を楽しんでみましょう。
※実際のお茶会への参加のため、集合時間は席入りの時間が決まり次第お知らせします。

参加費 【会員】 **1,500円** 【ビジター】 **2,000円** (席料含む)
集合場所 山田奉行所記念館

12月13日（水） 13:30～15:00 **体験講座**

お正月のハンギングバスケット

今年はお正月飾り用の花をハンギングバスケットで作ります。一見入りきらないくらいたくさん用意されたお花たちを先生の指導のもと植えていくと、ピツパリと収まり素敵な作品に仕上がります。ぜひこの機会にチャレンジしてみてください。(園芸用手袋、エプロン、タオルなどをお持ちください)
※材料準備の都合により、12/5に申込みを締め切ります。ハンギングバスケット用の容器およびスポンジをお持ちの方は値引きいたします。

参加費 【会員】 **4,800円** 【ビジター】 **5,300円** (材料費含む)
定員 15名限定
講師 **山路 元彦** ヤマヅ園芸代表取締役・グリーンアドバイザー

12月19日（火） 13:30～15:00 **企画講座**

伊勢観光の近代

かつて、伊勢神宮・榑原神宮・熱田神宮と歴代の天皇陵をめぐるいわゆる「聖地巡拝」が推奨され、観光旅行や修学旅行で多くの人々が伊勢を訪れました。神苑整備や外宮と内宮を結ぶ御幸道路の建設、「大神都聖地計画」の概要などを豊富な画像を用いてご紹介しながら、戦前の人々が楽しんだ伊勢観光の旅の様子を長谷川講師が解説してくださいます。過去を知ることと現在の伊勢観光の楽しみ方のヒントも見つかるかも知れません。

参加費 【会員】 **900円** 【ビジター】 **1,400円**
講師 **長谷川 怜** 皇学館大学文学部国史学科准教授

12月25日（月） 13:30～15:00 **企画講座**

伊勢国司北畠氏の歴史(終)

三重県内各地に伝えられる伊勢国司北畠氏関係の古文書を読み解くことで北畠氏の歴史を見ていこうという本シリーズもついに最終回。今回は永禄5年(1562)に北畠家督を継承したものの、同12年、信長の子茶筌丸(のちの信雄)を養子として天正3年(1575)に家督を譲り、翌年父具教が暗殺されたことで、事実上最後の伊勢国司となった北畠具房の古文書を読みながら、滅亡寸前の北畠氏について考えていこうと思います。中世の古文書を読むようになりたいと思っている方、大歓迎!

参加費 【会員】 **900円** 【ビジター】 **1,400円**
講師 **岡野 友彦** 皇学館大学文学部長

1月17日（水） 13:30～15:00 **企画講座**

川柳っておもしろい

川柳は、江戸時代に始まった、俳句の弟分ともいえる文芸です。生活の中でのつぶやきや発見を、普段使いの言葉で、五・七・五のリズムに乗せて表現します。ぬぎずてうちが一番よいという 岸本水府
盃に散る花びらも酒が好き 大木俊秀
この先を考えている豆のつる 吉川雉子郎(英治)
今回は、川柳と俳句の違い、川柳とはなんぞやというお話から始めて、古今の川柳の鑑賞をします。橋倉先生は、NHKラジオの「みえDE川柳」の解説で親しまれる方です。

参加費 【会員】 **1,000円** 【ビジター】 **1,500円**
講師 **橋倉 久美子** 鈴鹿川柳会会員・三重県川柳連盟理事

1月19日（金） 13:30～15:00 **企画講座**

滑舌で脳トレを

話すことは、脳の活性化にとても役立ちます。一日声を出さないでいると口の周りの筋肉が衰えしわも多くなり、何よりも言葉が出てこなくなります。耳から入る膨大な情報量の処理に脳をフル活用し、適切な言葉を選び話す。一人では無理と思わないでください。とっておきの方法、それは早口言葉を練習することです。アナウンサーがする練習の一つが外郎売というセリフを喋ることです。これは役者に必要不可欠な発声滑舌がたっぷり入っています。「拙者親方と申すのは・・・」で始まる8分あまりかかるセリフです。挑戦してみましょう。

参加費 【会員】 **950円** 【ビジター】 **1,450円**
講師 **瀧 裕司** フリーアナウンサー・ディレクター

1月21日（日） 11:00～13:30 **企画講座**

節分の食

節分というと2月3日と普通は思いますが、実は年に4回あります。元々は季節を分けるという意味で、季節の変わり目は不安定で疫病や災いなどの邪気が生じるからと悪霊を祓う儀式をおこないました。はじめは宮中など上流階級の儀式でしたが、江戸時代からは豆まきが主となりました。節分の食としてはそんなにバラエティーに富んだものではなく、定番は豆を食べる、鯛の塩焼き、昆布や梅干し黒豆を入れた福茶などです。最近では恵方巻がブームで、他にけんちん汁、こんにゃく、そば、地方によってはくじらも節分には食べたそうです。さて相可高校の節分食は？楽しみます。

参加費 【会員】 **3,600円** 【ビジター】 **4,100円** (食事代含む)
講師 **西岡 宏起** 相可高校食物調理科専門調理師教諭

1月22日（月） 13:30～15:00 **企画講座**

理想の住まいとは

住宅は多くの人にとって生涯で最も高価な買い物。それだけに後悔しない家づくりをしたいものです。かつて近くの木、土、石、草で地元の大工さんが建てていた家は、工場生産された新建材を現場で組み立てるのが主流となりました。吉川さんはこれまでにNAGIで何度か住宅を特集し、ガイドブック「三重の個性派住宅」を5回編集・発行。自らもハウスメーカー、建築家、工務店との普請を経験してきた吉川さんと、理想の住まいについて共に考えてみましょう。

参加費 【会員】 **900円** 【ビジター】 **1,400円**
講師 **吉川 和之** 月兎舎代表・NAGI発行人

1月25日（木） 13:30～15:00 **企画講座**

「延喜祝詞式」について① ～大殿祭～

長らく倭姫宮御鎮座百周年に寄せて、倭姫命が訪ねられた御巡行地をシリーズで紹介してきました。今回から延長5年(927)に成立した古代法典「延喜式」巻8の「祝詞式」について数回に亘り紹介していきたいと思ひます。ただ祝詞の口語的な解釈をするだけでなく、神宮との関連性も合わせて読み解いていきます。第1回目は大殿祭です。「おほとこのほがひ」と読みます。この祝詞は宮殿の災変なく、平安ならんことを祈請して祝福するもので、今の神宮祭祀の祝詞でもつかわれる「食国天下」(おすくにあめのした)の言葉の重要な意味や「天地垂」(あめのちだる)の掛詞としての真意、「夜女のいすすき」の本当の言葉の解釈など、従来の定説からさらに一歩踏み込んだ言霊の解釈をし、神宮の大宮院にも当てはめて考察いたします。

参加費 【会員】 **900円** 【ビジター】 **1,400円**
講師 **音羽 悟** 神宮司庁広報室次長

1月28日（日） 13:30～15:30 **野外講座**

なかむら珈房を訪ねて

約1年前なかむら珈房はお店の移転、チョコレート工場の新設など新しく生まれ変わりました。ぜひともお伺いをしてそこで講座をしていただきたいと、当初からお願ひをしていましたが、1年を経てやっとOKがいただけましたので、新年早々新しいお店にお邪魔いたします。まずは1階の焙煎やチョコレート工場の見学、そして珈琲のおいしい淹れ方を学び、工場から生み出されるなかむら珈房オリジナルチョコレートとともに珈琲を味わいましょう。次に2階スペースに移動して珈琲の歴史など珈琲にまつわる様々なお話をお伺いします。お店貸切りで、ゆっくりと贅沢な午後を味わってみませんか。

参加費 【会員】 **2,200円** 【ビジター】 **2,700円** (珈琲・お菓子代含む)
講師 **中村 雅則** なかむら珈房店主
集合場所 13:25に「なかむら珈房」集合(場所は説明いたします)

1月29日（月） 13:30～15:00 **企画講座**

三重の大地を東西に走る中央構造線、それは大断層～発生から現在まで、そして未来は？～

国の天然記念物に指定されている中央構造線の大きな崖が松阪市飯高町月出で見ることができます。中央構造線とは規模が非常に大きい断層のことで、東は関東から西は九州東端までの延長約1000kmに達し、この構造線を境にして全く成因のちがう岩石が接しています。講座ではこのような大断層がどのようにしてできてきたのかを紐解き考えて見たいと思います。またなぜか、中央構造線に沿って、神宮をはじめ神社仏閣などが数多く建立されているのです。その不思議にも迫ります。

参加費 【会員】 **950円** 【ビジター】 **1,450円**
講師 **津村 善博** 三重県総合博物館非常勤学芸員(岩石鉱物担当)

2月2日（金） 13:30～15:30 **体験講座**

貝アートに挑戦

蛤は縁起の良い貝です。そして同一個体でない限り左右が絶対にあいませぬ。古くから二見浦海岸では蛤が採れていました。拾い集めた色とりどりの綺麗な蛤で齋宮の女官たちが一對合わせる貝合わせの遊びに興じていたという資料も残っています。今回はすでに金が塗られた蛤貝に好きな絵柄を選んで写し、色を付けてオリジナルの貝アート作品を作ります。絵柄はこちらで用意いたしますが、ご自分で描きたい絵があればお持ちください。※筆を洗った後、拭く布をお持ちください。申込みは1月25日に締切ります。

参加費 【会員】 **2,400円** 【ビジター】 **2,900円** (材料費含む)
定員 15名限定
講師 **阪本 順子** 貝アート&ちりめん細工体験施設 阪本物産専務

2月16日（金） 13:30～15:00 **企画講座**

ここまでわかった!？ 伊勢うどんの歴史

伊勢うどんは伊勢志摩地域で食べられている郷土料理です。近年では、伊勢市が国の無形民俗文化財に登録することを目指して新しい取り組みを開始しました。いま日本で一番、注目されているうどんと言ってもよいかもしれませぬ。ところでこの伊勢うどんは、一体いつからあるのでしょうか。そして、どのように食べられてきたのでしょうか。実はわかっているようで、わからないことばかりです。この講座では、新たに解明された伊勢うどんの歴史についてお話していただきます。

参加費 【会員】 **900円** 【ビジター】 **1,400円**
講師 **谷戸 佑紀** 皇学館大学文学部国史学科准教授・博士(文学)

2月19日（月） 13:30～15:00 **企画講座**

お寺と仏像を知ろう ～唐招提寺～

今回からあの有名な律宗の総本山唐招提寺のお話です。唐で名僧として名高かった鑑真和上にぜひ日本へと2人の留学僧が懇願したのを受けて12年間5回の渡海を試み、その間に目が見えなくなりました。芭蕉がその苦労を偲んで「若葉して御目の皞拭はばや」と詠んだことはよく知られています。6回目で成功し5年間東大寺にいた後、天平宝字3年(759年)唐招提寺を創建しました。堂宇、仏像の数々が国宝、重文の指定を受け、その数が多いに多いので2回に分けての講座になります。近くにはあの薬師寺もありますので、薬師寺のお話も1～2回していただいてからの現地訪問と企画しています。

参加費 【会員】 **950円** 【ビジター】 **1,450円**
講師 **瀧川 和也** 三重県総合博物館調査・資料情報課課長(学芸員)

2月20日（火） 13:30～15:00 **企画講座**

聖地巡礼 ～京都の神社⑤ 御香宮神社～

京都市伏見区にある御香宮、創建は不明ですが平安後期に境内から良い香りの水が湧きだし、飲水すると病が治ったので、時の清和天皇から「御香宮」の名を賜ったと伝わります。環境省の名水百選に選ばれています。伏見は元々水が良く、有名な造り酒屋も数多くあります。ご祭神は神功皇后、安産の神様として信仰をあつめています。秀吉や家康の信仰も篤く家康によって造営された本殿や紀州藩主徳川頼房によって寄進された伏見城の大手門は今表門として国の重文に指定されています。また幕末の鳥羽伏見の戦いでは薩摩藩の本營にもなったとか、いろいろと歴史の表舞台にも関連したお宮のお話です。

参加費 【会員】 **1,200円** 【ビジター】 **1,700円**
講師 **西山 克** 京都教育大学名誉教授

2月20日（火） 18:30～20:30 **企画講座**

冬の星見と月の話題

この日は20時ごろ、冬の大三角が南の空に見え、その上に月齢11の月が輝いています。月は身近な天体ですが、アポロ計画で人が月面に足跡を残してから、もう50年以上の歳月が過ぎました。その月の探査が、再び熱くなっています。日本の月着陸実証機SLIMも2024年1月頃に日本初の月面着陸に挑戦する予定です。そんな月探査の今と、来たる4月8日に北米で見られる(月が太陽に重なる)皆既日食をご紹介します。

参加費 【会員】 **1,200円** 【ビジター】 **1,700円**
講師 **野田 学** 名古屋市科学館学芸員・博士(理学)

2月21日（水） 9:30～12:30 **野外講座**

久居探訪

町村合併で津市となった旧久居市、藤堂家の支藩で初代高通公が精魂をたむけて作り上げた城下町です。その面影が今も各所に残っていますので皆様とのんびり巡って見よう企画しました。まず玉淀寺、藤堂家の菩提寺として創建されたもので、本堂には藩祖高通公と2代高堅公の木造があります。その隣にある妙華寺は元和元年(1681年)に創建された真宗高田派のお寺で国の登録有形文化財です。次に天文元年(1679年)に作られた子午の鐘、町に時を告げたもので地元人の自慢の種だったそうです。最後に久居八幡宮、久居総鎮守の神社です。神主は山中フローリアン氏、正式参拝をさせていただいた後、参集殿で日々感じられている日本の伝統を守る大切さについて伺います。

参加費 【会員】 **3,400円** 【ビジター】 **3,900円** (参拝料・ガイド料・保険代含む)
集合場所 9:25に久居駅西口集合

2月22日（木） 18:30～20:00 **オンライン同時中継**

日本の神話⑦ ～古事記を中心として～

葦原中国を平定した天照大御神はこの国を治めるために孫の瓊瓊杵尊を遣わされました。いわゆる天孫降臨です。御案内役は言わずと知れた猿田毘古神、降り立たれたところは高千穂の峰(今の宮崎県)ここからが日向三代の神々のお話になります。火遠理命、鵜葺草不合命と物語は進みます。その間に天宇受賣命、木花佐久夜毘売などおなじみの方々も登場です。今までとくらべるとなんと人間味がでてくる神々、楽しみにしてください。

参加費 【会員】 **900円** 【ビジター】 **1,400円**
講師 **山中 一孝** 豆腐庵山中代表取締役

2月29日（木） 13:30～15:00 **企画講座**

遷宮諸祭 後編

伊勢神宮では一年間に1500余りのお祭りが行われています。驚くほどの数ですがそれはひとえに国家の隆昌と国民の平和を祈って斎行されています。これが20年に一度のご遷宮ともなると、それはそれはたくさんのお祭りが遷宮の8年前から行われます。それぞれ意味があり、また日本民族の心根が偲ばれるお祀りです。秋の講座では前半のお祭りについて詳しく伺いましたが、今回は後半部分からクライマックスの遷御そして終わってからの種々のお祭りについてもお話いただきます。

参加費 【会員】 **900円** 【ビジター】 **1,400円**
講師 **千種 清美** 文筆家・皇学館大学非常勤講師

12月27日(水)・1月24日(水)・2月28日(水) 10:00～12:00 **企画講座**

楽しい俳句

わずかに7文字に色々なことを詠みこむ俳句。筆記用具があればいつでもどこでも楽しめる手軽な趣味。難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた連歌から始まり、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。日本語のリズムは知らず知らずに五七五になっているといわれています。つまり誰もが俳句を作る下地を持っているのです。いまや世界の人々が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。石井先生が分かり易くノウハウを教えてくださいます。

参加費 (各回) 【会員】 **1,600円** 【ビジター】 **2,100円**
講師 **石井 いさお** 煌星俳句会主宰

